

本部広報2013-030

2013年9月5日

アジア・太平洋地域の交通安全に貢献 JAF交通安全講習プログラムの一部をシンガポールが活用

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 小栗七生）はFIA（国際自動車連盟）を通じ、アジア・太平洋地域の自動車クラブから交通安全推進担当者を招いて、自国で活動を行うための講習会を実施しており、シンガポールの自動車クラブでそのプログラムを使った交通安全講習会が実施されました。

このプロジェクトは、国連の「交通安全のための行動の10年」キャンペーン（※）の趣旨に賛同する活動の一環とし、2010年以降、毎年開催しており、これまで10カ国からのべ28名が参加しています。参加者がJAFの展開する交通安全講習会のノウハウ、カリキュラム、技能を学び、自国の活動に活かすことを目的としています。

昨年の講習会に参加したシンガポールの自動車クラブ（SMSA）では、今年、JAFの「セーフティトレーニング」のプログラムの一部である「ドライバーの死角」を体験、理解するカリキュラムを使った講習を開始しています。※動画参照

また、今年度は、9月19日～21日の日程でバングラデシュ、スリランカ、マレーシア、フィリピン、香港およびインドの6カ国の自動車クラブから10名が参加する講習会を開催する予定です。

（※）国連「交通安全のための行動の10年」は、2011年～2020年の10年間に発生すると予測される交通事故死者、重傷者のうち、死者500万人、重傷者5000万人の削減を目指す国際的な交通安全活動です。

詳しくは→<http://www.jaf.or.jp/data/doa/index.htm>



■シンガポール（SMSA）で実施した交通安全活動の様子

【動画 URL】 <http://www.cmfm.jp/movie/play/182/95577/10>

このリリースのお問い合わせは、

本部広報部 03-3578-4920

へお願いします。

